

# 熊本市版 保育所等生活管理指導表の使用について

保育所は、アレルギー疾患を有する子どもに対して、その保育に当たっては、医師の診断及び指示に基づいて行う必要があります。

「熊本市版 保育所等生活管理指導表」は、保育所等施設において保護者や医師との共通理解の下で、食物アレルギー疾患を有する子ども一人一人の症状等を正しく把握し、子どものアレルギー対応を適切に進めるために**保護者の依頼を受け医師が記入するものです。**

保育所等施設においては、生活管理指導表を、子どもを中心に据えた医師と保護者、施設の重要なコミュニケーションツールとし、医師の指示に基づく特別な管理や配慮項目に留意するとともに、子どもの健全な発育・発達の観点から不必要な食物除去等を行うことがないように、適正な保育・給食提供をお願いいたします。

保育所等生活管理指導表(食物アレルギー・アナフィラキシー)2020年改訂版

提出日 年 月 日

氏名 男・女 年 月 日生( )歳( )か月 施設名

※この生活管理指導表は、保育所の生活において特別な配慮や管理が必要となった子どもに限って、医師が作成するものです。

<b>1</b> アナフィラキシー(既往歴あり・なし) <b>2</b> 食物アレルギー(アレルギー)		<b>3</b> 診断根拠 該当するものすべてに○を記載 ①明らかな症状の既往 ②食物負荷試験陽性 ③IgE抗体等検査結果陽性 ④未採取				<b>4</b> 保育所等での生活上の留意点 病型・治療	
		<b>5</b> 緊急連絡先 保護者 電話: 連絡医療機関 医療機関名: 電話: 記載日 年 月 日 医師名 医療機関名					
<b>6</b> 緊急時に備えた処方薬 <input type="checkbox"/> 内服薬(抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) <input type="checkbox"/> アドレナリン自己注射薬(エピペン®) <input type="checkbox"/> その他( )		<b>7</b> 保護者署名					

●保育所等における日常の取組及び緊急時の対応に活用するため、本表に記載された内容は職員全員で共有することに同意します。

- ①疾患名の(あり・なし)欄に当該疾患の有無について○をつけ「あり」の場合、下位項目のそれぞれに記入
- ②「病型・治療」欄  
当該疾患の原因や症状、服用中の薬など、子どもの現在の状況について、□の欄に✓を記入
- ③診断根拠  
原因食物と診断した根拠を①～④から選び、該当欄に○を記入  
※ナッツ類以下は、具体的な食材名を( )に記入
- ④保育所等での生活上の留意点  
保育所等での生活における管理・配慮の必要性について該当欄に✓を記入  
「D. 除去食品においてより厳しい除去が必要なもの」欄に✓が入った場合、安全性を最優先し、給食対応が困難となる場合があります。  
「E. その他の配慮」欄については、保護者の方と保育所等が話し合いを行ううえで、**配慮すべきことなどを具体的に記入**
- ⑤緊急連絡先  
保護者と相談の上、緊急連絡先を記入  
※特にアナフィラキシー既往歴がある場合は、記入漏れが無いよう注意
- ⑥記載日、医師名、医療機関名をご記入ください。
- ⑦は、保護者記入欄です

## <使用上の注意>

- 本様式は、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 2019 改訂版(厚生労働省)」をもとに熊本市が作成し、熊本市医師会・鹿本医師会・下益城郡医師会と協議の上、「学校生活管理指導表(食物アレルギー用)」(熊本市教育委員会作成)と記入様式を統一しています。**施設においての様式変更はできません。**
- 生活管理指導表は、当該児の診断・指示内容を医師(主治医)が記入するものであり、**記載された内容に保護者や施設が加筆・修正をすることはできません。**  
また、施設から保護者に対して、関連する検査結果を求める必要もありません。